



落穂会だより

春季号 2015.4

社会福祉法人 落穂会 障害児入所施設 障害者支援施設 地域生活支援センター 障害者支援施設 障害福祉サービス事業

あさひが丘学園 (Tel 238-4821) あさひが丘 (Tel 238-4821) あさひが丘 (Tel 243-1112) 旭福祉センター (Tel 244-3551) 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)

http://www.asahigaokagakuen.jp/ http://www.asahi-center.com/



ぎやらりー「ASAHIYAあさひや」オープン

「ぎやらりー ASAHIYAあさひや」オープン

障害者支援施設「あさひが丘」では、生活介護サービスを提供しています。4つのグループに分かれ、生産活動系(日中1科)、創作系(日中2科)、療育系(日中3科)、リハビリ系(日中4科)の日中活動に取り組んでいます。

その中でも、創作系のクラスを中心に陶芸や絵画、羊毛フェルトを使った創作活動に力を入れて取り組んでいます。利用者、職員が協力することで、利用者の方々が持っている才能が発揮され世界に二つとない、独創的な作品作りが実現しています。利用者の方と一つの作品を作りあげ、完成品に触れる度になんとも言えない「あつたかさ」に出会えます。そんな素敵な作品との出会いを繰り返す度に「バザー」等の限られた機会に留まらず、この「あつたかさ」との出会いをもっと多くの人に伝えたいという思いが私達職員に溢れてきました。そこで今回、あさひが丘学園内に完成したのが、作品展示と販売ブースも兼ね備えた、ぎやらりー「ASAHIYAあさひや」です。

日が昇る朝日(あさひ)は、一日の始まりを意味します。あさひが丘ギヤラリー一号店として、この場所が「あつたかさ」との出会いの始まりでもあります。設立五十七周年目を迎える「あさひが丘学園」の良き伝統を残しながら、日の照らす朝日のように全てを包み込み、人と人とのあつたかさの輪に誘われて更に人が集まる。そんな場所になって欲しいという願いの詰ったネーミングにしました。

毎日の創作活動の中で、新しい作品たちが誕生します。利用者の方が創った作品に色が塗られ、窯に入っ出てくるまで3日間。ひと針ひと針、かたちになるまで挿した羊毛フェルト。窯を開いた時の「あつたかさ」、かたちになった羊毛フェルトのぶら下がったモビールの「かわいさ」。

色とりどりの出会いを創りながら、お客様と共に、「あつたかさ」「かわいさ」を共感できる日を心よりお待ちしております。

日中2科チーフ 田端 敬美

新任職員紹介

- ◆あさひが丘学園 北ノ園 千紘 保育士
自分らしさを忘れずに日々学び続け、成長できるように努めます。
- ◆あさひが丘 椰木 祐美 保育士
笑顔忘れず、よりよい支援ができるように頑張りたいです。
- ◆あさひが丘 新山 くるみ 事務員
毎日、学んで少しでも施設に貢献できるように頑張ります。
- ◆あさひが丘 米澤 大地 支援員
利用者様が毎日、安心して楽しく過ごすごうができる支援を行ってまいります。
- ◆あさひが丘 鮫島 法子 支援員
笑顔と明るさを大切に楽しみながら一杯頑張りたいです。
- ◆あさひが丘 山下 直人 支援員
心で繋がりが合えるような支援者を目指し、日々精進していきます。
- ◆あさひが丘 平田 大 支援員
一日でも早く仕事内容を覚えていけるよう努力します。

地域生活支援センター

- ◆地域生活支援センター 福満 彩加 支援員
利用者の方々がそのらしい生活を送れるよう支援していきます。
- ◆地域生活支援センター 長渡 雄矢 支援員
利用者の皆さんと共に支え合えるような支援をしていきたいです。
- ◆地域生活支援センター 中村 リカ 支援員
利用者の方々と楽しみながら支援していきたいです。
- ◆地域生活支援センター 瀬戸 祥太 支援員
慣れないことばかりですが、一つ一つ吸収しながら頑張ります。
- ◆地域生活支援センター 玉利 真百見 支援員
早く子どもたちになれてもらえるようになりたいです。
- ◆地域生活支援センター 白濱 綾菜 支援員
笑顔絶やさず、仕事には責任を持って頑張りたいと思います。

宅間 愛莉 保育士

- ◆旭福祉センター 村山 昭太 支援員
すばらしい人達に出会えます。これからも日々是精進の心で頑張りたいと思います。
- ◆旭福祉センター 上江洲 由美 支援員
まだまだ未熟ですが、一日一日を大切に、成長していきたいです。よろしくお願ひします。



記念樹(平成二十年四月二十日 植樹) 学園創立五十周年の年に、保護者会より寄贈していただいた桜の木に今年もきれいな花が咲きました。

編集後記

鹿児島では三月中旬に桜の開花が発表され、桜の香りが街に広がる季節となりました。この春から新しく落穂会を利用される利用者の方や新任職員のみなさんと一緒に新たな気持ちで今年度スタートしていきたく思います。また、この広報誌も多くの方に愛読していただけるように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。(T)

ベーカリー楓 オススメ商品

ベーカリー楓「いちごフェア」
楓で大人気のオリジナル食パンに、「いちご食パン」が登場!

いちごシートとジャムをたっぷり練り込みました。また、「いちごメロンパン」や「いちごフラワーパン」、「いちご姫」などいちごづくしの菓子パンも並んでいます。

4月いっぱいフェアになっております。ピンク色のかわいいパンを是非お買い求めください。

◆ 行事報告 ◆

- 1月9日(金) 新成人を祝う会
あさひが丘学園、グループホームあさひが丘から、県知的障害者福祉協会主催の新成人を祝う会に利用者4名、保護者7名、職員3名が参加、新成人を祝いました。式典後は、サンロイヤルホテルのトリアンで茶話会を行いました。
- 1月11日(日) グループホーム新年会
あさひが丘グループホームの新年会をスパランドららにて行いました。利用者33名、職員30名が参加しました。美味しい食事とお酒を楽しみながらカラオケ大会や抽選会などを楽しみました。
- 1月14日(水) 新年会・バイキング誕生日会
あさひが丘にて、利用者81名、職員44名、計125名が新年会・バイキング誕生日会を行いました。2組のグループにわかれ、お寿司やデザートなどの食事を楽しみました。
- 1月24日(土) 日中活動参観2回目・保護者懇談会
あさひが丘の生活介護、ワークショップあすもねで、今年度2回目の日中活動参観を行いました。あさひが丘39名、あすもね7名の保護者が来園、活動の様子などをみてもらいました。活動後は、茶話会を行い1年間の振り返りや意見交換を行いました。
夜の保護者職員懇親会には、保護者21名、職員20名の参加がありました。会食をしながら、意見交換と交流を深めました。
- 1月26日(日) 新年会
旭福祉センターでは、サンロイヤルホテルにて新年会を行いました。利用者83名、保護者40名、職員25名が参加し、美味しい食事を囲みながら新年の抱負などを語りました。カラオケや抽選会、新任職員によるステージ等が会場を盛り上げ、みなさん楽しそうに過ごしていました。
- 1月26日(月) 成年後見説明会
2月1日(日)
地域生活支援センターにて、成年後見説明会がありました。「成年後見制度の基礎知識～知的障害者の権利擁護のために～」というテーマで、司法書士 芝田淳氏に講演してもらいました。保護者、利用者、職員が参加、成年後見制度について知識を深めました。
- 1月29日(金)～2月23日(月) ワークショップあすもね個別外出
ワークショップあすもねで、1月29日～2月23日にかけて個別外出を行いました。公共交通機関を利用して、天文館で買い物や食事を楽しみました。少人数に分けて実施したことで、一人一人の希望を聞きながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。
- 1月31日(土)～2月4日(水) ナイスハートバザールin鹿児島
旭福祉センターでは、山形屋6階催事場で開催された、

- 一月
○1月7日(土)～8日(日) グループホーム旅行
旭福祉センターでは、グループホーム利用者6名、職員2名で1泊2日の福岡旅行に行きました。大宰府天満宮や九州国立博物館の見学やマリンドール海の中道に行きました。宿泊した旅館では美味しい食事を囲みながら、みんなで会話も楽しみました。
- 2月11日(水) 還暦祝い
グループホームで生活している松木場貴子さんの還暦祝いを行いました。利用者22名、職員18名、本人のお姉さん夫婦が参加しました。出席した方々からお祝いの言葉やプレゼントをもらい、楽しい時間を過ごすことができました。
- 2月12日(木) 歩路・セルク・トリア合同保護者会
歩路・セルク・トリア合同保護者会を行いました。保護者30名(歩路13名、セルク10名、トリア7名)が参加し、理学療法士の講話や職員を交えての意見交換会を行い、活発な意見が交わされました。
- 2月14日(土) 個別相談
あさひが丘では、今年度3回目の個別相談がありました。44家族の参加があり、今後の進路や生活・活動の様子などの話を行っています。
- 3月4日(水) 乗馬体験in森林馬事公苑
あさひが丘、日中2科(生活介護)の活動として川辺にある森林馬事公苑に乘馬体験へ出かけました。馬との関わりや実際に馬に乗り乗馬体験を行うなど貴重な体験を行うことができました。
- 3月5・6日(月・火) 吉田南中学校職場体験学習について
あさひが丘学園で、吉田南中学校職場体験学習が行われました。中学2年生7名(男子2名、女子5名)が生活介護の活動に参加し利用者との交流を深めました。
- 3月9日(月) 鶴丸高等学校体験 「医療福祉施設訪問学習」
あさひが丘学園、地域生活支援センターで、鹿児島県立鶴丸高等学校「医療福祉施設訪問学習」が行われました。28名(男子8名、女子20名)が、利用者との交流を深めました。
- 3月21日(土) 1日旅行
旭福祉センターでは、利用者86名、職員26名で北薩方面へ1日旅行に出掛けました。
曾木の滝公園で散策を行い、国立天文台入来観測所では世界最大のパラボラアンテナを見学することができました。昼食時にはカラオケをして盛り上がり、昼食後は希望者のみ温泉に浸かり、日頃の疲れを癒しました。

二月
三月

平成二十七年 運営方針

- ◆あさひが丘学園
- ◆障害者支援施設あさひが丘
- ◆地域生活支援センターあさひが丘
- ◆ガーデンキッズ

統括施設長 水 流 純 大

あさひが丘関係施設における今年度の重点目標は以下のとおりである。

- 一、組織間連携の充実を図る
チーム内、チーム間、部門間、事業所間の連携の充実を図る。情報共有システムの構築を図るためにグループウェアの導入を検討する。各種会議において課題を明確にして議論し、有意義な会議となるよう会議の質の向上を図る。
- 二、人材育成の充実を図る
職員の自発的な研修・見学の希望の把握とそれに基づく研修計画の策定、二年目以上の職員の他部門での体験研修の実施、新人職員が業務内外のいろいろな相談を気軽にけるチューター制度、園内研修において年三回職員の実践報告の場を設ける。

の検討や採用活動の強化を図る。

- 四、リスクマネジメントへの取り組みを強化する
トータルなリスクマネジメントシステム作りの第一歩として、各支援現場における事故防止マニュアルの改定を行う。また、万一の災害に備えて、飲料水、食糧、寝具等の備蓄品を計画的に準備する。
- 五、地域社会に向けての取り組みの充実を図る
児童発達支援センターにおける公開療育や子育てに関する相談会の実施、地域イベント(秋祭り)の開催や施設開放、清掃活動等の地域貢献活動を積極的に行う。また、学園の運営や活動を理解し、協力していただく地域の協力者を増やすために「あさひが丘サポーター制度」を創設する。
- 六、新事業の円滑な運営と新たな事業展開のための施設整備を行う
平成二十七年十月開始をめざし、乗馬療法実施のため厩舎等建築工事、グループホームとんぼ丸のスプリングクラー工事、障害児入所施設の新築工事及び既存施設の一部改築工事等を行う。

七、利用者の権利擁護の取り組みを推進する。
司法書士と連携して利用者が成年後見制度を利用できるように支援するとともに、各事業所に虐待防止マネジャーを配置し、人権侵害防止の取り組みを推進する。

◆旭福祉センター
◆第二旭福祉センター

第二旭福祉センター施設長 水 流 健 一

障害福祉サービス報酬の見直しを実施され、一部については引き下げなどの厳しい船出となった。また、社保審においては社会福祉法人のあり方についての議論が佳境を迎えており、法人の地域公益活動に関する位置づけの議論、社福法人への課税問題など、法人制度改革の今後には注視しなければならぬ。今年度は下記の重点目標を掲げ、更なる向上を図って行きたい。

- ①利用者のニーズに合わせた支援の提供
利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った、短期目標・長期目標を支援計画に掲げ、利用者支援の向上を図る。
- ②家族との連携強化
年三回の家族代表者委員会、毎年八月の家族総会、一月の新年会など、

家族との連携を強化する。また、福祉施策の動向について家族への情報提供を行う。

- ③職員の育成システムを確立する
新人の育成システムを確立させる。今年度は①作業面(作業班別育成シートの完成と実施)・②倫理・社会面(職員行動チェックリストの運用)について、確実に実施する。また、実施状況の確認、見直し作業を重点的に行いたい。
- ④就労支援に関する情報収集・強化
就労支援B型・就労移行の事業について、今後、支援体制を強化する。今年度はそれに伴う情報の収集を行い、将来の体制強化に繋げたい。

⑤地域密着型の施設サービス推進
地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。特に近隣の地域福祉組織との連携を密に行い、地域福祉の増進に寄与する。また、ベーカー・楓・カフェNODOKAという拠点を活かし、地域との交流を深める。

- ⑥各種作業部門 製販計画の達成
各作業班ごとに、策定した製販計画の達成を目指す。特に今年度は各作業班別に作業育成シートを完成させ、新人職員の作業面における育成カリキュラムの完成を重点目標と定め、確実な計画の達成を目指す。
以上が旭福祉センターの平成二十七年経営方針です。

「僕がかんばってん(ん)」

さんほみち



旭福祉センター 利用者 中島 幸司

ぼくは毎日ソサイはんでいっしょうけんめいがんばっています。ソサイはんで、野菜のふくろづめをしたり、お店に野菜を納品に行ったりします。納品に行くときは、野菜がたくさんあるので運ぶのが大変です。ハウスでは、花苗に水をまいたり、ポットに種を植えたりします。バザーが近くなると、たくさんの花苗を育てます。夏はハウスの中が暑いので大変ですが、汗をかきながらの作業はとても気持ちがいいです。ぼくはいつかマリーゴールドを植えから育ててきれいな花を咲かせてみたい

です。 休みの日には、ゲームをしたり音楽をきいたりします。音楽はよく演歌をきいています。最近フットサルにきょうみがあり、お昼休みの時間には、チームのメンバーと一緒に練習をしています。試合にはまだ出たことはありませんが、練習をたくさんして上手くなって試合に出れるようになりたいです。 ぼくが入所しているセンターでは、洗濯物をたたんだり、庭の掃除をし

たりしています。掃除は他のメンバーと分担して掃除をしたり、いろいろな当番をしています。ぼくはいろんなことを手伝っています。これからもみんなで協力して楽しく過ごしたいです。そして、ソサイはんでもしっかり作業をしていきたいです。

「夢見る少女」

あさひが丘 保護者 精松 明美

着物で出席した成人式。「未華ちゃん、かわいい」の言葉に気を良くし、慣れない着物でも「大丈夫！」と笑顔で乗り切ったがんばり屋。 誰に似たのか、小栗旬・ジャニーズ・イケメン好きの次女、未華。 学園では、メイ作業が一番好きで、沢山の先生方やお友達に支えられながら、お楽しみいっぱい生活を送っているようです。

二十年前、高熱が出た私のお腹の中は相当居心地が悪かったらしく、早産で一七八〇グラムと小さく生まれてきた娘。生まれてきたからには母親の私が沈んでいてはいけない。笑顔でこの子を育てていこう。と、すぐに決心したので思い出します。 私達親子がこうして生きていける

のも、沢山の温かい言葉かけがあったお陰。挫けそうになる事もありますが、笑顔でバランスを取りながら楽しんでいたらと思います。これからも、御指導、御支援宜しくお願い致します。 素敵な王子様が迎えに来てくれると夢みる未華。成人おめでとう！感謝の気持ちと笑顔、忘れずにね！

「結婚式を終えて」

あさひが丘 職員 坂元 浩平

私事ですが、昨年の九月末に結婚式を挙げました。忙しい時期にも関わらず、職場の方や、地元の方など、百二十名を超える多くの方が参列してくれました。 結婚式までの道のりは長く、思い起こせば、平成二十六年一月より、結婚式の準備を始めました。休日は式場との打ち合わせがあり、招待状や席次表、映像関係は自分たちで作りをしようと妻と決め、時間を見つけ取り組む日々でした。

その中でも、何より一番大変だったのは、妻のドレス決めでした。一回の打ち合わせで、四、五着ものドレスを着て、打ち合わせの回数が増えていく度、私は疲労感を感じる時

間でした。しかし、ドレスを選ぶ妻の嬉しそうな表情を見ると、一生の内に一度しかない晴れ舞台であり、納得のいく結婚式にしてほしいと思うようになりました。その後、結婚式の前日まで、準備に追われていたのも思い出すと、つい昨日のよう感じます。 結婚式当日、いよいよ待ちに待った瞬間でした。予定では、感動の挙式になるはずが、会場はなぜか笑いに包まれました。それは、挙式にて私が新婦のドレスを踏んでいたりと、新婦のベールを上げる際に、ティアラに何度も引掛かるなど、思いもよらないハプニングの連続だったからです。一生に一度の結婚式なのに、と妻に申し訳ないという気持ちでした。その後の披露宴はハプニングもなく、皆さんに暖かく見守られ、無事に最後まで終わることが出来ました。

結婚式を終えて、両親をはじめ、友人、職場など多くの人との出会いがあり、支えられているからこそ、今の私があるということを感じました。この一期一会の出会いを大切に、今後も「感謝」の気持ちを忘れない、「頑張っている」と思っています。

さんほみち

今回は旭福祉センターの「グループホームあじさい」にスポットです。

あじさいの皆さんはどんな生活を送っているのでしょうか？それではお邪魔します！ (ある日の作業後、あじさいを尋ねると、夕食の真っ最中であつた...) ○今日の夕食美味しそう！今日のメニューは何ですか？



森田さん「今日はしょうが焼きだよ！」 瀬戸口さん「あと煮物もあるよ！」

○美味しいですか？ 三原さん「美味しい。あとご飯をおかわりする。」 湯之上さん「ミー(三原さん)はいつもお替りするよ(笑)」 (三原さん「ご飯をお替りする...」) ○三原さん、そんなに「飯食べれませんか!？」

←今日の晩ご飯は生姜焼き！



三原さん「大丈夫。食べれるよ」 森田さん「いつもこれくらい食べてるよ。」 瀬戸口さん「いつも食べてるよ。」

○いつもそれだけしっかり仕事をしていますのでね。ですが、食べすぎには気をつけてください。 ○それでは、他にもいろいろと話を聞かせてください。 湯之上さん「何でも聞いていいよ(笑)」 瀬戸口さん「ミー(三原さん)がよくAKBを聴いてるよ！」

○おっ！三原さんはAKBが好きなのですか？ 三原さん「うん、よく聴いてる。DVDもあるよ」 森田さん「ミー(三原さん)の部屋に行けば？」 ○三原さん、お部屋を覗いても良い



←食事をしつつも相撲の結果が気になる瀬戸口さん

ですか？

三原さん「いいよ。」 瀬戸口さん「CDとかたくさんあるよ！」 森田さん「いつてらっしゃい(笑)」 (三原さんの部屋へ...) ○三原さんお邪魔しますね！ (部屋に入ると洗濯物が部屋干しされていました)

○三原さん、たくさん洗濯物がありますね(笑) 三原さん「最近天気が悪いから、外に干せない。」 ○そうですね。明日も天気が悪いとか... ○ところで三原さんはいつも部屋で何をしていますか？ 三原さん「DVDを見る」 (テレビを付けDVDを見る準備を

←大好きなNMBのDVDを鑑賞中の三原さん



←集めているグッズを説明中...

始める)

○それは何のDVDですか？ 三原さん「NMBのDVD」 ○NMB...? 三原さん「AKBみたいなグループ」 ○ああ！そうなんですね！ ○DVDやCDはたくさん持っているんですか？ 三原さん「持っているよ。新しいものもある」 ○そうなんですね！いろいろと見せてくれてありがとうございます！

今回、部屋を見せてくれた三原さん、ありがとうございました。 これからも四人で楽しく過ごしてまいります。 インタビューありがとうございました。



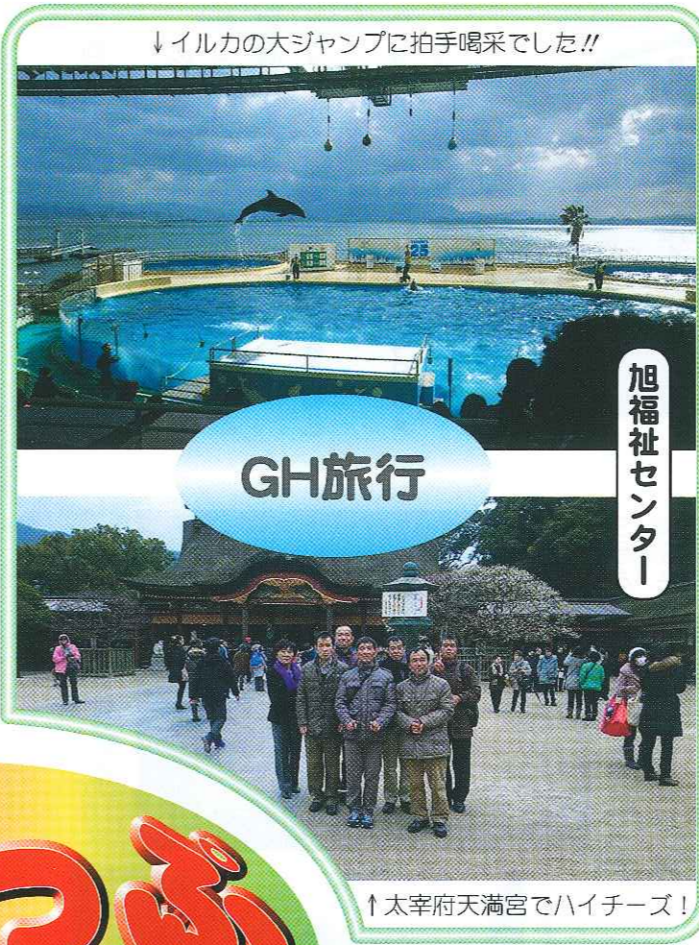
あさひが丘学園 地域生活支援センター

成年後見制度について



あさひが丘学園 地域生活支援センター

陶芸と一緒に取り組みました



すなっふ スナツプ

